



感想文

「働くということ」

2年1組 きたむら 北村 じん 仁

僕は「職場体験学習」でいろいろなことを学びましたが、その中で特に二つの大切なことを学びました。一つ目は、動物の命の大切さです。獣医師さんは、交通事故で車にはねられて死にそう猫を必死で治そうとしていらっしゃいました。それを見て「はじめから大変だから」と言って、あきらめてしまっただけでは何も始まりませんことを学びました。

二つ目は「動物愛」です。獣医師さんは、捨て猫を無料で飼っていらっしゃっていました。そのような優しい心が必要な職業なのだと思いました。

この二つの「あきらめないこと」と「優しい心」について深く考えさせられました。日頃から、優しい心を持ち粘り強く様々なことに取り組んでいきたいと思えます。



氷川中

氷川中学校は「地域と共にある学校」、「主体性のある生徒」、「地域に貢献する生徒」を目指し、コミュニティスクールの組織を中心に活動しています。

目指す学校、生徒像を実現するための活動の1つとして、1年生は「農業体験」、2年生は「職場体験」、3年生は「三神宮秋季例祭」に参加しました。

地域や関係者の皆さまからのご指導もあり、生徒たちは大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

今回、これらの貴重な体験をさせていただいた生徒の中から、各学年代表生徒の感想文を掲載させていただきます。

これからも、氷川中学校は「地域と共にある学校」「主体性のある生徒」「地域に貢献する生徒」を目指し活動していきます。皆さま、よろしくお願いします！

3年生 三神宮秋季例祭



感想文

3年1組 とみやま 富山 しあ 紫亜

私は、三神宮秋季例祭を通していろいろなことを学びました。当日を迎えるまでポニーを引く練習をしたり、タカンポを作ったりしました。どちらも思ったより大変で、地域の方や保護者のありがたさを感じました。3年生全員で三神宮の境内で歌った校歌は、練習の時より大きな声が出ていて心に残りました。最後に中学校のグラウンドで校長先生が「このような地域の祭りに参加できるのは当たり前のことではない。」とおっしゃいました。私はこの言葉を聞いて、地域の祭りに学校全体で参加することは当たり前ではなく、地域の方の支えがあってできる貴重な経験だったと改めて思いました。これからは今まで以上に地域に貢献できるように頑張りたいです。

3年2組 いなもと 稲本 しんじ 眞二

三神宮秋季例祭では、ポニーを引きました。初めてのことでわからないことが多かったけれど、馬の世話をしたり、扱い方を教えてもらったりして慣れていきました。「ほいほい」というかけ声や向きの変え方など体全体で学ぶことが多かったです。また、ポニーがとてもおとなしくて助かりました。けがもなく無事に終わり、ほっとしました。三神宮にいる時にインタビューを受け、新聞記事にもなりました。「今日はどういう日ですか」と聞かれ、「みんなが笑顔になる日です。」と応えました。自分も楽しく、みんなも楽しく過ごせた笑顔の1日でした。この経験を今後に活かしていきたいです。

1年生 農業体験



感想文

「農業体験で学んだこと」

1年1組 うえむら 上村 あいら 藍璃

私は、農業体験で気づいたことがあります。一つ目は、他の野菜などもそうだと思いますが、トマトを出荷するまでに一年もかかるということです。また、お米も、田植えから稲刈りまでの作業がやっと終わったと思えば、また、すぐに次の年がやってきます。そのため、農家の方は休みが無く、大変さが分かりました。

二つ目は、食卓に野菜が出てくることのありがたさです。私は、小さい頃から当たり前とと思っていましたが、食卓に野菜があるのは、野菜を作る農家の方と、それを買ってくる家族のお陰だということに気づきました。これからは、野菜を作る農家の方や家族に感謝して、食べようと思います。

2年生 職場体験

